

H30年度 生産性・品質向上のためのITの活用を図る企業の
好事例発表及び意見交換について

～情報技術(IT)を積極的に活用し、技能のデジタル化に向けた取り組み～

- 1 日 時 平成30年10月16日 14時から16時まで
- 2 会 場 KIZUNAプラザ 3階会議室(徳島県徳島市南末広町5番8-8)
- 3 参加者
 - ・事例発表 阿波スピンドル株式会社 代表取締役 木村 雅彦 氏
 - ・コーディネーター 株式会社オィskojo 代表取締役社長 小笠原 豊道 氏
 - ・聴講者 28名(建設業、製造業、小売業 ほか)意見交換企業を含む
- 4 事例発表

阿波スピンドル株式会社 代表取締役 木村 雅彦 氏 テーマ「情報技術を用いたデータ蓄積・活用と熟練技術のデジタル化」

当社は、明治元年(1868年)創立、徳島県吉野川市に本社を置き、繊維機械部品の製造、販売及びベアリングのレース加工、輸出梱包等で事業展開をしている企業で、従業員は131名です。

創立以来、高品質・高性能な製品づくりをモットーに、他社にはない製品づくりに挑戦し続けてきた結果、「イタリー式スピンドル、ダブルツイスタースピンドル、ウォータージェットノズル」の3つの商品の販売シェアで、世界No.1を達成しております。

高品質なスピンドルに仕上げるため、高度な「高周波焼き入れ、研削、バランス修正、穴あけ」技術を確立してきました。

また、機械部品のほか、環境対応商品としてトライウォール・パック(3層強化段ボール)を使用した梱包資材も市場に供給しております。

当社におけるIT活用については、情報管理システムを構築するため、社員全員で、個別問題の洗い出しやシステムの構成づくりに取り組み、プログラム作成などの作業はベンダーに発注しました。

システムの特徴としては、

- ・会社全体が見える化し、経営を支援
- ・営業活動から出荷・顧客フォローまでのデータベース
- ・PDCAサイクルの実現

などが挙げられます。

次に、熟練技能のデジタル化については、「作業手順書」と「実際の作業手順を写し

た動画」をリンクさせることにより、写真や文字だけでは表現しにくかった、高度な技能や複雑な動作も繰り返し確認できるようにしております。

これにより、短期間での作業習熟が可能となり、作業の生産性と品質の向上にも繋がっております。

5 意見交換（主な意見）

- ・ 当社も専門部署はないが、IT活用や環境改善など、その都度変化する目的に沿って、各課の代表で組織する委員会でプロジェクトチームを立ち上げて得られた成果を、そこから社内に浸透させている。
- ・ システム開発の際には、必要と思われる機能を全て盛り込むのではなく、モジュール化しておいて、後から必要なパーツを増設できるようにする方が失敗は少ない。
- ・ 動画や写真を利用した手順書については、建設系を始めとした他の業種でも技術を伝えるという面で大変参考になる。
- ・ 動画をうまく活用すれば技能伝承はもっと効率的になる。
- ・ 映像は、あくまでも技能伝承の参考であって、あとはトレーニングで高めていくしかない。



【参加者アンケート】

「役立った」との回答が多かったが、建設関係の参加者が多く「生産性・品質向上のためのIT活用」というテーマは、地方の中小企業にはそぐわない、との声もあった。